

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
		担 当	健康増進 G 大曲
会議名 (審議会等名)	平成 28 年度 第 1 回嬉野市健康づくり推進協議会		
開催日時	平成 28 年 10 月 20 日(木) 14:00～15:10		
開催場所	嬉野市役所 塩田保健センター 2 階会議室		
会議の公開の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可 の場合はその理由	/		
出席者	委 員	嘉川委員	杵藤保健福祉事務所所長 ※代理
		朝長委員	嬉野町医師会会長
		石崎委員(会長)	塩田町医師会会長
		---- 欠席 ----	嬉野市歯科医師会会長
		北委員(副会長)	嬉野市薬剤師会代表
		松尾委員	塩田地区行政嘱託員代表
		嬉野委員	嬉野地区行政嘱託員代表
		---- 欠席 ----	嬉野市食生活改善推進協議会会長
		岡 典子	嬉野市商工会女性部部长
		---- 欠席 ----	吉田小学校養護教諭
		---- 欠席 ----	嬉野市民生児童委員協議会会長
		野副委員	嬉野市老人クラブ連合会会長
		森山委員	嬉野市母子保健推進協議会会長
		森田委員	大草野地区コミュニティ副会長
	事務局	市民福祉部長、健康づくり課長、 健康づくり課副課長、健康づくり課(健康増進 G)係員	
	その他	中島副市长	
会議の議題	別紙「協議会資料」のとおり		
配布資料	「協議会資料」		
審議等の内容	別紙のとおり		

審議等の内容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
議題	1.開会、2.副市長あいさつ、3.協議会会長あいさつ		
内容	事務局の進行により、議題1～3までを進めた。		
審議経過		1開会 (省略) 2委嘱状の交付 (省略) 3市長あいさつ ※代理 副市長 (省略) 4協議会会長、副会長選任 あいさつ (省略) (会長) 石崎委員、(副会長) 北委員	
その他	マイナンバーについての説明		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
議 題	協議事項 4.第2次嬉野市健康総合計画・嬉野市食育推進計画(H25～H29)について 5.嬉野市健康づくり事業の概要について 6.事業報告について		
内 容	事務局より、計画や事業の概要等の説明を行いました。		
審議経過	石崎会長	男性の不妊治療助成に対しての補足説明をお願いします。	
	事務局	昨年度実績がない旨の報告と女性の不妊治療の実績値を説明。	
	北副会長	不妊治療助成は県と市、それぞれから助成金を受け取ることができるのでしょうか。	
	事務局	条件はあるものの、県と市、それぞれから助成金を受け取ることができます。	
	野副委員	不妊治療に対する1件当たりの費用はどれくらい必要ですか。	
	事務局	通常40万円～50万円は必要となりますが、嬉野市の平均実績は1回目:433,000円、2回目:225,000円、3回目:135,000円ではありますが個々の条件によって様々です。	
	野副委員	補助は全部通して1回なのか、回数毎に交付されるのでしょうか。	
	事務局	県も市と同様に、回数毎に交付されます。	
	石崎会長	B型肝炎予防接種に対しての補足説明をお願いします。	
	事務局	本年度より定期予防接種化され、一律の医療サービスの提供がなされます。これも安全安心のまちづくりに繋がっており、ムンプスについても定期予防接種化が待たれるところです。 今後も医師会と情報交換をしながら進めていきたいと考えます。	
	石崎会長	自殺対策事業に対しての補足説明をお願いします。	
	事務局	全国的には右肩上がりの傾向にあります。嬉野市としてはインターネットを通して「こころの体温計」の事業にも取り組んでおり比較的多いとされる若年層にもスマホ等での対応も可能です。 嬉野市の自殺は平成27年1月～12月までに6名となっており、30歳から80歳までとなっておりますが、各世代に1名いらっしやって世代的なバラつきはございませんが、働く世代の病気や経済苦の悩みが増えたように感じます。関係機関とも連携して進めていきます。	

石崎会長	報道で働く世代が長時間労働により自殺されたりするケースもありますが、職場に関わるものはどのように対応されていますか。
事務局	相談としてあれば対応しているが、会社等にはストレスチェックも義務付けられており、環境も変わりつつあります。
松尾委員	自殺しようとする人は、相談に来ないで、一人で悩んで命を絶つのが一般的なのでは。そのような人への対応はどうしたらよいのでしょうか。
石崎会長	自殺する人はうつ病の方が多いです。自責の念に駆られ、焦りや疲れもある傾向があります。典型的なのは不眠ですが、家族がいれば支えにはなるかも分かりませんが、いつ自殺するかはわかりません。非常に難しい問題でもあります。
野副委員	自殺対策について、相談があった方の会社（企業）へのアプローチは難しいとのことだが、労働基準監督署等を通じて出来ないものでしょうか。
事務局	大きい会社になれば、メンタル面の確立が整いつつあります。例えばストレスチェックの内容を受けての対応がなされると思いますが、産業医もいます。 会社に属していない方の悩みは経済苦が多いため、社協の自立支援窓口が相談に乗っています。そこで一時的な食糧支援や、職の斡旋をしており、解決しない場合は生活保護の申請につなげます。 また、中々相談が出来なかったり、深刻な状態になる前に、身近な人に対応してもらおうためのゲートキーパー養成研修を開催しています。他にも心の相談等の事業も行っていますが、予約をして相談に来る方が少ないため、状況に応じて訪問もしています。 うつ病で通院をされている方には病院と連携を取っています。
松尾委員	うつ病（精神通院等）に関しての医療費は高額なのでしょうか。
事務局	通院と薬もあるため負担はかかりますが、保険証対応（3割負担）となります。精神疾患で通院をされている方は県の制度で自立支援医療という制度（1割負担）もあります。
野副委員	患者の中では医療費の負担で生活資金が不足することも考えられるのではないのでしょうか。
県保健福祉事務所	自立支援医療制度は、生活保護の方は無料ですが、その他の方は収入に応じて限度額が決められていますので、経済的なものに配慮した制度といえます。 ゲートキーパーですが、まずは言葉かけから始めることをしています。地域の方が保健福祉事務所に相談して頂くことも可能です。 企業に対しましては労働基準監督署が年に2回、地域の経営者を対象に会議がなされており、その時に啓発されています。職場に向いての出前講座の計画もあるみたいです。

石崎会長	市の方で、対象者に対し色々取り組んでいると思うが、県としても自殺に至る前に支援をお願いします。
県保健福祉事務所	管轄の範囲が広く、対象者も多いですが、できる限りのことはします。精神病院の月1回の連絡会議も保健所が連携を取っていますので。地域の病院との懸け橋となっていきます。
森田委員	前職で学校に勤務していたが、スクールカウンセリングの制度もあります。そこで保健師を学校に呼んではとの助言がありました。例えば、「複雑な家庭環境で母はうつ病を発症されたケース」があったが、学校としての関わりは1年生になってからしかなく、市の保健師は出生時から携わっていらっしやったことがあり、連携の必要性を感じました。
石崎会長	特定健診に対しての補足説明をお願いします。
事務局	特定健診につきましては、平成28年8月末現在での受診率が36%です。期間を延ばしたり、新しいものを入れて実施していますが、受診率が伸びないのが現状としてあります。
野副委員	平成23年度からデータがでてくるが40%をクリアすることは困難のんですね。受診率が少ないことを市としてどのように分析してあるのでしょうか。
事務局	分析は難しいですが、ずっと受診されてない方（病院にはかかっておらず受診してない方、病院にかかっているのに受診は必要ないと判断している方）、国保なのに職場で受けられている方など様々な方がおられ複雑になっていることも現状としてあります。
野副委員	平均寿命と健康寿命の差が10年ほどあると聞いているが、医療費にも大きく関わってくるので、これを基本に置き改善していかないといけないのでは。介護保険についても右肩上がりの現実がある。検診の重要性を市民に認識させる必要がある。私個人としても検診の結果が多少悪くても日常生活をする上で支障がないと病院に行かなかった経緯もある。早期発見早期治療と受診率向上のための努力をお願いしたい。
石崎会長	子どもが作るお弁当の日に対しての補足説明をお願いします。
事務局	子供たちは朝4時に起きて自分で作った等の報告もありました。今まではレンジでチンするだけだったのが意識が変わったことなどの声もありました。当初は弁当を作ることに包丁で怪我をされないか心配していたが、そのような声はなかったので、更に推進していきたい。 (ほかに発言等なし)
	様々な意見が出たが、市で調査検討し、次回報告していただきたい。これで本日の協議会については閉会する。 《協議事項すべて終了、閉会(健康づくり課長)》

その他	なし
-----	----